【新改訳 2017】

ルカ

 $2 \cdot 8 - 12$ 

「御使いは彼らに言った。『恐れることはありません。今、私はこの民全体のためのすばらしい喜びを知らに来たのです。きょうダビデの町で……救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。』」(10、11節)

羊の夜番をしていた羊飼いたちに御使いが告げたことばの 一部です。有名なクリスマス物語の1つです。

まず不思議なことは、このような重大な告知が当時の偉い 人たちにではなく、必ずしも良く思われていなかった羊飼い たちに与えられたことです。神の選びは不思議です。

次に、羊飼いたちの反応に注意しましょう。主の栄光に照らされた時、彼らはひどく恐れました。しかし天の軍勢の賛美を聞き、御使いたちが去った後、彼らは言われたようにベツレヘムへ行き、飼い葉おけの幼子イエスを探し当て、神を賛美しました。驚くべき神の語りかけにも素直に応答した時、彼らは救い主と出会ったのです。神のみことばへの素朴な信頼を見習

## いましょう。

## ~祈り~

父よ。救い主をお送りくださり感謝します。どうか、素朴な心で、 事ごとに、いつも、このお方とお会いできる者としてください。

## 【学びのために】

キリストのご降誕にあたっては、いろいろな人たちに、いろいろな場で、御使いが大切な役割を果たしていることに注意しましょう。例、マタイ1・20、2・13、ルカ1・11、26ほか参照。